



# 見<sup>て</sup>みて！学芸員のイチ推し 第1回

市文化財課の職員が、市歴史民俗資料館の所蔵品を紹介。



縄文時代の宝石！ヒスイ製の首飾り

「硬玉製大珠」と呼ばれる縄文時代の垂飾品。湯西川仲内遺跡出土。長さ約6.6cm、幅2.4cm、重さ47g。

## 解説

縄文時代中期(約4,500年前)のお墓から出土したヒスイ製の首飾りです。新潟県糸魚川市の周辺で採れる石を加工して作られています。

その完成品が、交易によって新潟県から福島県会津地方を経て、湯西川にもたらされたものと思われます。当時、このような貴重品を所有できたのは、このムラの有力者と考えられます。

私が発掘しました！

かたね 片根 学芸員



所蔵品に関する  
情報募集中！

今月の「推し」所蔵品に関する情報や感想などを募集しています。下の専用フォームからぜひ送ってください。

応募はこちら



今回の所蔵品については、市歴史民俗資料館(今市304-1)で常設展示しています。ぜひ見に来てください。



# 見<sup>て</sup>みて！学芸員のイチ推し 第2回

市文化財課の職員が、市歴史民俗資料館の所蔵品を紹介。



弥生時代の石鋤  
(縄文時代と比べ  
大型化している)



縄文時代の打製石斧(石鋤)



## 弥生時代の土掘り具～石鋤～

打製石器で、棒状の木の柄の先端に装着して使用した。昭和50(1975)年に「大沢中学校郷土クラブ」による日光市芝崎遺跡の発掘調査で出土。長さ33.5cm、最大幅16cm、重さ1.9kg。

今回の所蔵品については、市歴史民俗資料館(今市304-1)の1階で、

5月26日(火)～6月21日(日)まで展示しています。ぜひ見に来てください。

### ● 解説

弥生時代中期(今から約2,200～2,100年前)の大きな石鋤です。主に土を耕したり、掘り起こしたりする道具です。縄文時代から続く、石を打ち欠いて作られたこの種の土掘り具が、弥生時代になると農耕の本格化に伴い、大型化したものと考えられています。

今市地域において、当時の農耕を裏付ける貴重な資料といえます。

かたね  
片根 学芸員



所蔵品に関する  
情報募集中！

今月の「推し」所蔵品に関する情報や感想などを募集しています。下の専用フォームからぜひ送ってください。

応募はこちら

